

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 西宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ab	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	69.43	99.96	89.72	1,777

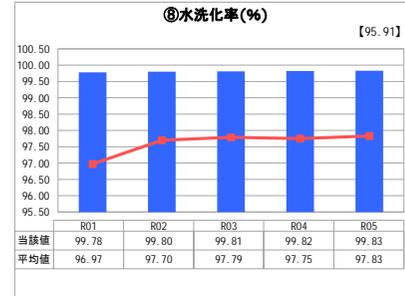
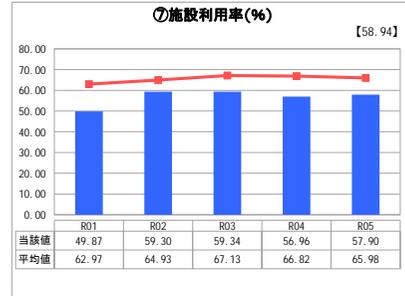
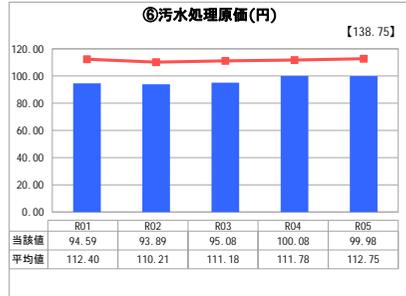
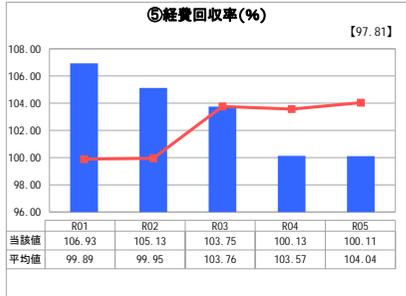
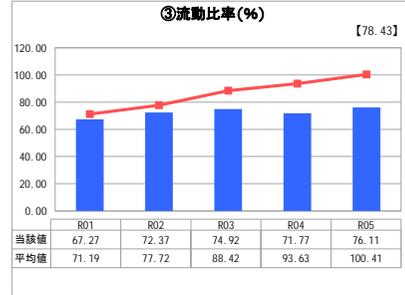
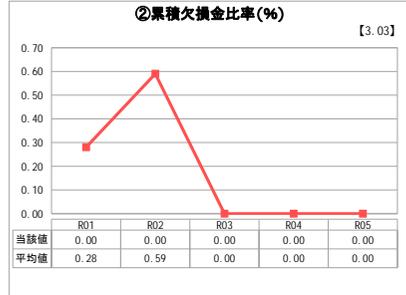
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
482,594	99.96	4,827.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
480,931	48.29	9,959.23

グラフ凡例

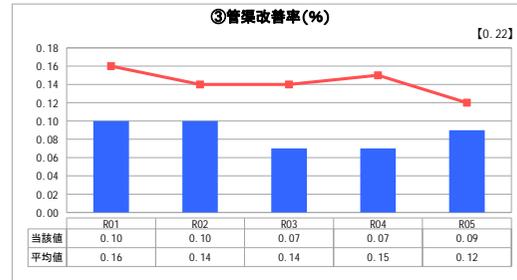
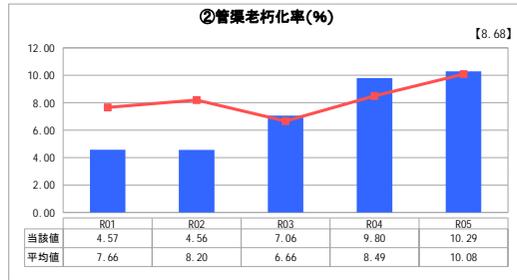
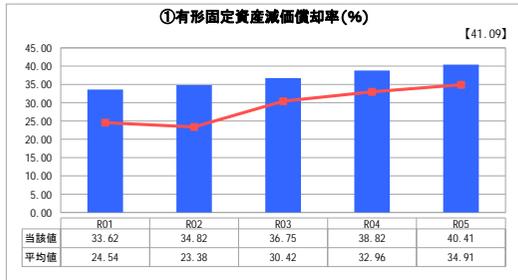
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、令和2年度より基準外の一
般会計繰入金を削減したため低下している。ま
た、①経常収支比率及び⑤経費回収率は物価高騰
等の影響を受け100%を上回っているものの低下
傾向にある。
② 流動比率は、緩やかに改善しているが100%
を下回っている。
③ 企業債残高対事業規模比率は平均的である
が、施設の老朽化等による改築更新事業の増に伴
い今後企業債残高の増加や使用料収入の減少が考
えられることから注意が必要である。
④ 汚水処理原価については平均値と比較し低く
なっている。
⑤ 施設利用率は節水機器の普及や大規模事業場
の撤退等の影響もあり平均値を下回っているが、
合流式区域を有することから、雨水時の流入水量
増加に対応できるよう一定の余力を有している必
要がある。
⑥ 水洗化率は高く、適正に使用料収入を得られ
る環境にある。

2. 老朽化の状況について

これまで厳しい財政状況の中、適正な維持管理
により施設の延命化を図ってきたが、今後は一時
期に整備を行った管渠が一同に法定耐用年数を
超える時期を迎えることから、法定耐用年数を
超える管渠は今後ますます増加傾向となる。

全体総括

耐用年数を超過した施設の改築更新時期を迎
え老朽化対策、処理場の再構築・統廃合に加え浸水
対策と多くの事業を進める必要がある。また、法
定耐用年数を超える管渠は今後ますます増加傾向
となっており、引き続き、ストックマネジメント
計画に基づく点検・調査・改築が重要となる。今
後の改築等の事業費については、平準化した上で
事業費の確保に努めていく必要がある。
今後、企業債償還金が再び増加に転ずる見込み
となっているなか、人口減少等による使用料収入
の減少傾向や、物価高騰等による維持管理費の増
加により本市の経営状況は厳しいものとなっており、
更なる経営の合理化、効率化に取り組むにつ
適正な使用料体系の検討が必要となっている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。